

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成29年11月2日 (2017.11.2)

【公開番号】特開2017-85424(P2017-85424A)

【公開日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2015-213414(P2015-213414)

【国際特許分類】

H 0 3 K 7/08 (2006.01)

H 0 3 F 3/345 (2006.01)

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 7/08 B

H 0 3 F 3/345 B

H 0 2 M 3/155 P

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月21日 (2017.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本発明にあっては、制御部は、N 個全ての設定可能値の平均的な値が目標の値に最も近くなるように N 個の設定可能値を決定する。

これにより、信号の N 周期全体について、発生部に設定された N 個の設定可能値の平均的な値が目標の値に最も近くなる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

第 4 設定値が決定される場合、第 1 設定値と、第 2 設定値と、第 3 設定値と、第 4 設定値の 2 つの候補値夫々との平均値のうち、どちらが X に近いのかが判定される。この場合、第 1 設定値は Y であり、第 2 設定値は Z (= Y + 1) であり、第 3 設定値は Y であり、第 4 設定値の 2 つの候補値は Y 又は Z であるから、Y と Y + 1 と Y と Y との平均値である $Y + 1 / 4$ 、及び Y と Y + 1 と Y と Y + 1 との平均値である $Y + 2 / 4$ のうちのどちらが X に近いのかが判定される。図 6 の場合は、 $Y + 1 / 4$ よりも $Y + 2 / 4$ の方が X に近い
ため、第 4 設定値は Z と決定される。